

楽な介助の方法③ ~立ち上がり編~

今月は立ち上がりの介助方法について説明します。介助方法は身体の大きさや介助量によって様々ありますが、介助の原則は共通しています。今回は軽介助の一例です！
以前ご紹介した『楽な立ち上がり』(NO.12 参考)を誘導することが大切になります。

【原則】 その人の持っている力を最大限に生かす！
(そのために声掛けや誘導で足りない部分を補う)

1 立つ準備をする



自分で動けない場合は介助する

2 おじぎをする



おじぎが不十分な場合は手を添えて前方へ誘導する

3 お尻が浮いたら立ち上がる



足腰の力が弱く身体が伸びにくい場合は介助する

※介助方法に関して悩んでいる方はお気軽にご相談下さい。

今月はケアマネジャーや関係職種の方を対象としたケアマネジメント部会にて「認知症のリハビリテーション」についてお話をさせて頂きました。100名近くの参加者と共に認知症について考える良い機会になりました。
沢山のご参加ありがとうございました。



★お盆期間中も、通常通り営業します。